

# ぬかただより

岡崎市立額田図書館  
冬号 No. 65  
2022年12月発行

今号は、前号に引き続き「鳥居強右衛門の走った道筋」と、額田にある「旧岡崎城の門」について紹介します。

## もうひとつの道

長篠城の危急を家康公に告げるため、岡崎城への道のり(片道 50 キロ)を走った鳥居強右衛門。その経路については、前号でとりあげましたが、別の道筋を通ったという説もあります。それは、作手から額田地区の鍛冶町を経て岡崎城へ向かう道です。

この内、額田地区の鍛冶町にある「鍛冶屋の五本松」から欠町の東公園入口付近にある「欠の三本木」までの約 10 キロの山道を「道根往還」といいます。下図はおおまかな経路です。前号で紹介した経路も載せてありますので、確認してみてください。

## 欠町～鍛冶町を結ぶ古道「道根往還」

「道根往還」は江戸時代以降の呼び名で、作手に抜ける昔の重要な道の一部です。鎌倉時代から使われていたという説があります。明治期は炭や米、繭、日用品などの運搬に利用され、1日に 80～100 頭の馬が鈴の音を響かせて行き来したといわれます。

今も沿道にあった茶店跡などが残されており、自然を感じる歩きやすい古道です。

岡崎市の魅力を発見する特集番組「街ぶらり～岡崎発見隊」が YouTube で「道根往還」を紹介しています。道の様子がよくわかりますので、興味ある方はぜひご覧ください。

(岡崎市ホームページ愛知県岡崎市公式観光サイト)

## 家康公の鷹狩

家康公が鷹狩に来たと思われる道

小屋沢(南大須町[額田地区])→古部町

## 家康公が鍛冶町に宿泊？！

明治 6 年(1873)廃城令により、旧岡崎城が取り壊しになりました。その際、額田地区鍛冶町の天野家が旧岡崎城裏門の北曲輪四脚門を購入しました。解体して馬の背に乗せて古道「道根往還」を通り、運んだそうです。そして天野家屋敷に再建しました。天野家の家系は室町時代までさかのぼることができ、家康公が宿泊したという伝承もある家柄だということです。家康公も道根往還を通ったのかもしれないと思うとロマンを感じますね。なお、本丸は安城の風呂屋が薪として買ったということです。

なんと…  
お城を薪に…?!

## 【額田地区 MAP】

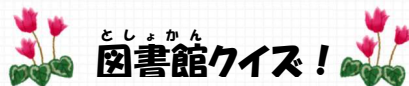


「天野家屋敷に再建した旧岡崎城の四脚門」  
『新編岡崎市史 額田資料編 1』(AN/233/シ) P.288 より

## ❁ 図書館からのお知らせ ❁

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会、ブックスタートは中止や変更をしております。

最新情報は、図書館ホームページ、館内掲示等でご確認ください。



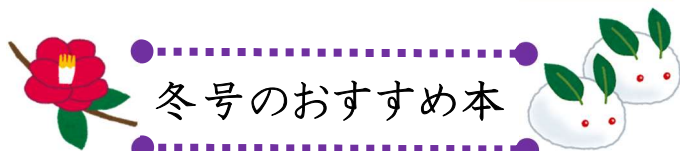
めかたとしょかん 額田図書館は、こもれび館内にオープンして2023年2月で何周年でしょうか？

- ① 1周年
- ② 5周年
- ③ 100周年

📎 答えはおたよりの最後です 📎

ヒント

平成30年にオープンしたよ！



## 冬号のおすすめ本

### ちいさいこむけ

#### 『ぼかぼかゆずおふろ』

すとうあさえ/ぶん ほるぷ出版 E/ホ



みんなは どうじのひ をしているかな？

どうじのひ に かぼちゃをたべて、ゆずの おふろにはいと かぜをひかない といわれているよ。

このほんにでてくる あっくんは、おばあちゃんからゆずを たくさん もらったよ。うさぎちゃん、おさるくん、きつねちゃん と ゆずの おふろにはいるよ。

みんな からだが ぼかぼか。

やさしいきもちになる えほんだよ。

### 小学生向け

#### 『徳川家康』

西本鶏介/文 ポプラ社 289/ト



せんごくしだい 戦国時代に活躍した武将で、天下をとった徳川家康公。

たいへい 太平の世の基礎をつくり、江戸時代は260年もつづきました。家康公とはどんな人物でどんなことをしたのでしょうか？ 岡崎城で生まれ、幼くして人質として過ごすことになったエピソードは知っていますか？

この本は、他にも様々な出来事が「ものしりガイド」として、巻末にまとめられています。巻末から先に読んででも面白い本です。みなさんはどちらから読みますか？

### YA 向け

#### 『なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』

池上彰/監修 学研プラス YA/366/ナ



あなたももし将来の仕事についてピンと来ないのなら、ぜひこの本を読んでください。なぜ働くのかという問いにマンガを交えて解説します。様々な角度で「職業」をとらえることで、世の中のしくみが見えてきます。「働く人の声」のページもおすすめ。各章を読み終えるごとに新たな知恵と情報がもらえます。

### 大人向け

#### 『認知症世界の歩き方』

寛裕介/著 ライツ社 493.7/ニ



この本の1番の特徴は認知症のあるかたご本人の視点から書いてあることです。認知症のあるかたが、何を見て、何を感じ、何に困っているのか。その世界を知ることで、「どうしてこんなこと？」と思う行動の理由がわかり、周りがどのように手助けをすればよいかが見えてきます。

「認知症になったらどうなるの？」と思っているかたにも参考になる1冊です。

もうすぐ大河ドラマ『どうする家康』が放送されます。岡崎市民としては、家康公が岡崎で過ごした日々がどのように描かれるのか気になるころではないでしょうか。中央図書館には【家康文庫】があり、詳しく調べることができる資料が揃っています。予約すれば額田図書館で受け取ることができる資料もありますので、この機会に今一度学び直してみたいかたがいませんか？



岡崎市立額田図書館 榎山町字山ノ神 21 番地 1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。

図書館 90: 2023